

南相馬市新庁舎建設事業

「交流・協働・共生の場」新たなコミュニケーションを促す新庁舎

1 目指す4つのコンセプト

01 ワンフロアで完結する市民利便性が高い庁舎

02 防災対策を強化した庁舎

03 市民と行政のコミュニティの場が広がる庁舎

04 自然と共生する省エネ庁舎

建物概要

- 計画敷地：原町区三島町二丁目地内
- 構造規模：鉄骨鉄筋コンクリート造4階建て（免震構造）
- 延床面積：庁舎棟 9,048 m²



まちのひろばからみる新庁舎のイメージ

2 利便性とコミュニケーション効果を高める配置計画

敷地利用計画

- 東・北市道からアクセスでき、利便性が高い配置計画です。
- 駐車しやすく、イベントや災害時に多様な使い方が可能です。



1F 待合スペースのイメージ



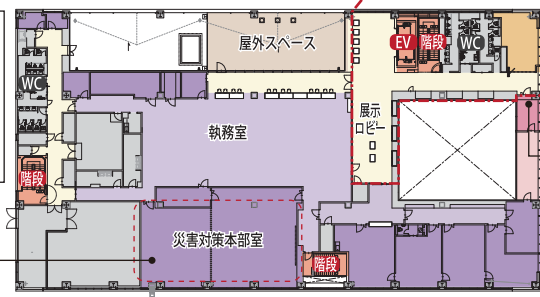
3 市民利用を第一に考えた階構成・平面計画

- 凡例
- ：共用エリア
 - ：執務室エリア
 - ：議会エリア
 - ：会議・打合せエリア
 - ：セキュリティライン
 - EV：エレベーター
 - 階段
 - WC：トイレ
 - ▶：建物出入口

災害対策本部室（庁議室＋会議室）
災害時の迅速な対応が可能

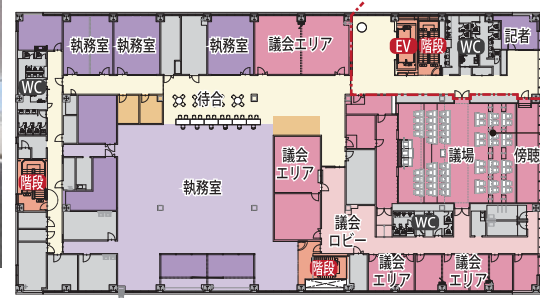


執務室
市民サービスを向上し、将来の働き方の変化にも柔軟に対応できる執務室



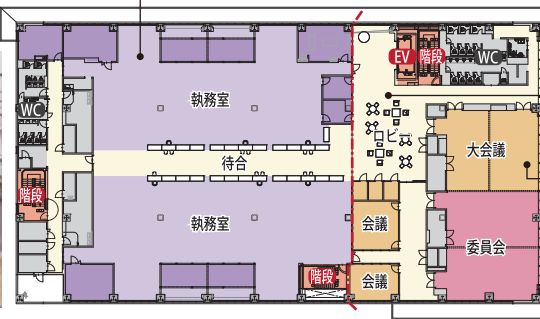
4F 執務エリア

親子席・車いす席
段差無しで議場にアクセスが可能



3F 議会・執務エリア

議場
まちづくりを先導する議場



2F 執務エリア

2F ロビー
大人数の会議にも対応可能な、たまりスペースとしても機能

大会議・委員会室
仕切りによって、少人数から大人数の利用が可能

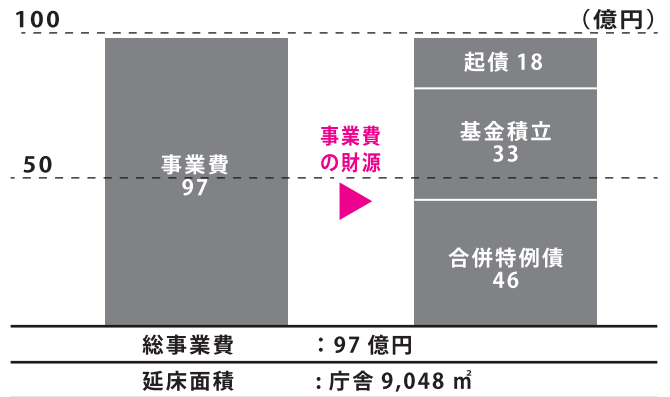


4 設計時点での事業費の状況

エネルギー資源や建築資材、人件費の高騰に対応しつつ、品質と設備機能を維持しながら建物構造を簡素化して費用を抑えました。基本設計段階で想定していた物価上昇を含めて 97 億円内に収めることで進めています。

財源は合併特例債 46 億円、庁舎建設基金 33 億円、交付税措置の対象となる新たな起債 18 億円の合計 97 億円を確保しています。

なお、市場動向は現在も予断を許さない状況であることから、本設計を基本としながら、一部設計内容を見直すなど事業費の圧縮に努めていきます。



5 今後のスケジュールについて（予定）

令和11年度の新庁舎開庁に向け、工事発注や工事契約の議決など必要な手続きを行い、事業を進めます。



※本資料は抜粋です。公有財産管理課と各区の市民総合サービス課、中央図書館、各生涯学習センターに資料を準備しています。また、市ホームページでも閲覧できます。

問合せ 公有財産管理課 ☎24 5 4 0 5